

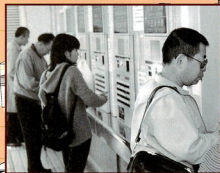
小田原

広

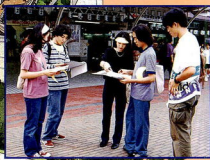
報

1999年5月1日発行
No.746

まちづくり情報誌



小田原駅 東西自由連絡通路 建設決定



この図は広域交流拠点整備構想
における整備イメージです

広域交流拠点となる
小田原駅周辺地域



VISION

広域交流拠点整備構想の策定

神奈川県は、県の地域活性化の新たな視点として、富士・箱根・伊豆にまたがる新しい交流圏づくりを進めていく中で、小田原駅周辺を圏域の広域交流拠点として位置づけました。それを受け、小田原市と神奈川県が協同して「広域交流拠点整備検討委員会」を発足させ、平成9・10年の2か年をかけた小田原駅周辺地区の整備構想づくりに取り組みました。この構想の推進によって、21世紀の交流時代にふさわしい小田原駅前となることが期待されます。

交流時代の幕開け 小田原駅周辺が変わる

この広域交流拠点整備構想は、小田原駅周辺地区において、県西地域をはじめ山梨・静岡県といった富士箱根伊豆交流圏の様々な魅力ある資源と連携しながら、来訪者や県西地域の人々にとって快適で利便性の高いまちづくりを進めていくためのガイドラインとなるものです。

この構想では、小田原駅を中心に駅に近接した3つの地区（お城通り地区・栄町二丁目東通り大乗寺周辺地区・駅西口地区）を広域交流コア（核）として位置づけます。

そして、広域交流を促進するために必要な7つの機能（交通・情報・観光・商業・宿泊・コンベンション・防災）を広域交流コアの中の各地区に役割分担して整備し、小田原駅東西自



由連絡通路で各地区の機能連携を図ります。

さらに、コアを中心とした交通網を整備するとともに、コアと周辺の歴史的・文化的資源のネットワーク化を図り、回遊性の高い魅力あるまちづくりを進めます。

この構想は今後地域住民の方をはじめ、多くの方と協議・調整を進めていく上での指針ですので、表紙をはじめとしたイメージとして一瞥ください。



栄町二丁目東通り・大乗寺周辺地区整備 にぎわいのライフスクエア

県西地域の趣味と生活の拠点としての整備を目指します。

●小田原駅に隣接する立地条件を生かして、にぎわいのある専門店・飲食店街の整備や魅力を高めるためのアミューズメント施設の整備を目指すとともに、周辺商店街の回遊性の確保を図るほか都市計画道路栄町小八幡線の整備を目指します。

鉄道（東海道新幹線など）
東京・横浜方面

栄町二丁目東通り・大乗寺周辺地区

東京・湘南方面

広域交流コアの位置づけ
機能配置計画図

レインボープロジェクト 交流の都市おだわら・ 時の回廊の実現に向けて

市では、総合計画「ビジョン21おだわら」の先導的・重点的な7つの施策の東であるレインボープロジェクトの中に、「交流の都市おだわら・時の回廊」を位置づけています。これは、小田原駅や周辺を交流の拠点として都市機能の充実を図るとともに、小田原の持つ歴史、文化などを生かした美しいまちなみや魅力ある回遊空間を創出することを目的としています。市では、広域交流拠点の核づくりを推進し、21世紀を見据えた「交流」をキーワードとしたまちづくりを進めています。

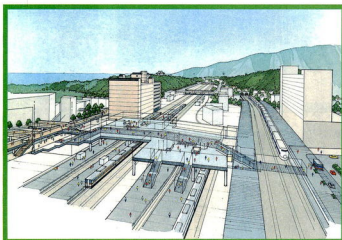
レインボープロジェクト



駅西口地区整備 情報・産業・観光のアクセスポイント

富士箱根伊豆交流圏の情報・観光振興拠点としての整備を目指します。

●駅東口地区との役割分担のもと、観光情報をはじめとした広域的な情報センターの整備や観光バスターミナルの拡充を目指すとともに、県西地域の業務拠点としての整備や快適な居住空間の整備を目指します。



小田原駅再整備 快適ふれあい ターミナル

富士箱根伊豆交流圏と県西地域の玄関口としての交通ターミナル機能の強化を図ります。

●東西自由連絡通路を整備し、駅東西のネットワーク化と歩行者や駅利用者の利便性の向上を図ります。

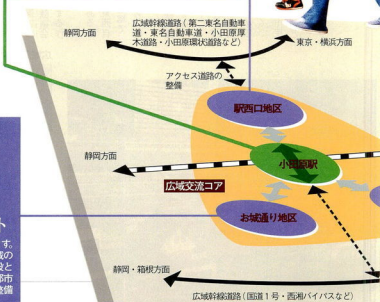
●東西駅前広場を再整備し、駅東西の交通機能の適正分担と歩行者の安全性を高めるなど広域交流拠点にふさわしい広場空間の整備を目指します。

詳しくは4ページをご覧ください。



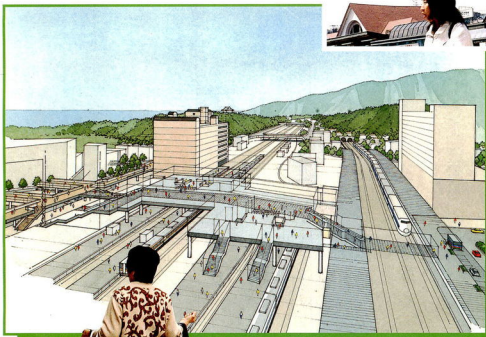
お城通り地区整備 文化をつなぐ地域交流ストリート

県西地域の文化交流拠点としての整備を目指します。
●小田原駅に隣接する立地条件を生かして、地域の人々の多彩な交流を促進するため、核となる施設としての地域交流センターや魅力ある商業施設、都市型ホテルなどの整備とともに、公共的駐車場の整備を目指します。





東西自由連絡通路 平成15年度の完成を目指して



小田原駅東西自由連絡通路は、広域交流拠点整備のリーディングプロジェクト（先導事業）となるもので、小田原駅東西の連携を図る上で必要不可欠な都市施設です。

市では、東西自由連絡通路のできるだけ早い完成に向け関係鉄道会社などとの協議を進めてきました。その結果、市と鉄道5社との協力体制の確認と、整備に当たっての基本的事項を定めた基本協定を締結し、3月末には、J、JR東日本施行部分の実施設計と工事に関する協定を締結しました。さらに伊の鉄道会社とも順次設計・工事協定を締結する作業を進めています。

市民アンケートの常上位にあるほど、市民の長年の悲願であった東西自由連絡通路の整備は、この協定の締結で、その実現に向けたいよいよ具体的な動きがはじまりました。

市では、東西自由連絡通路整備事業をはじめとして、広域交流拠点整備構

想に基づく総合的な小田原駅周辺整備を進めていきますので、今後とも市民の皆様をはじめ各関係機関のご理解とご協力をお願いします。

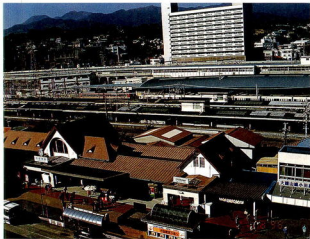
④ 広域交流拠点整備構

331653

広域交流拠点事業化プログラム

地区	整備項目	事業主体	事業スケジュール		
			短期	中期	長期
小田原駅	東西自由連絡通路	市・民間	■		
	西口通利広場		■		
	東口通利広場		■		
お北通り地区	事業優先区域	市・民間	■	■	
	地域交流センター・商業ビル・公共駐車場・ホテルなど				
栄町二丁目車通り大聖寺周辺地区	事業優先区域	市・民間	■	■	
	アミューズメント施設・専門店・飲食店街・集合住宅など				
その他の区域	事業優先区域	市・民間	■	■	
	広域情報センター・観光（団体）/スターミナルなど				
駅西口地区	事業優先区域	市・民間	■	■	
	商業兼用ビル・公共駐車場・公共駐車場・アクセス道路・防災施設（公園）・集合住宅など				

短期：平成10～13年度 中期：平成14～16年度 長期：平成17年度以降





交流と活性化 中心市街地活性化基本計画

「あじわい」と
「にぎわい」の街を
目指して

小田原駅周辺は中心市街地を活性化するという視点から整備を進めていきます。現在、近隣市町や川東地域などへの郊外型大型店の出店などにより、小田原駅周辺の商業の空洞化が目立っています。

そこで、小田原市の顔である中心市街地を活性化するために、商業の集積規模や物販の機能だけで競うのではなく、小田原城や御幸の浜海岸など歴史や文化、自然環境といった地域資源を活用しながら、他の都市にない街の魅力「小田原らしさ」を高めていくことを目指します。これが2010年を目標とした「小田原市中心市街地活性化基本計画」です。

中心市街地の区域は約300haで、「市街地の整備改善」と「商業等の活性化」を二本の柱としています。

また、この事業は商工会議所にTMO（注）を設け、市民と官民一体となって進め、活性化に取り組みます。詳しくは広報おたわら4月1日号をご覧ください。

●商工課 331519

（注）TMO：Town Management Organization
民間主導型で街全体の経営を考える組織。これは国が進める駅周辺の空洞化現象に対する施策で、小田原市では、全国でもいち早く取り組んだ。

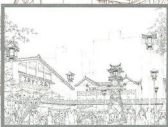
ストリートアイ
デンティティ創
造プロジェクト



板橋地区街道景観修復
整備プロジェクト



食匠の森整備プロジェクト



視点は3つ

1

中心市街地は市民の
ライフスタイルを表現する
メインステージ

2

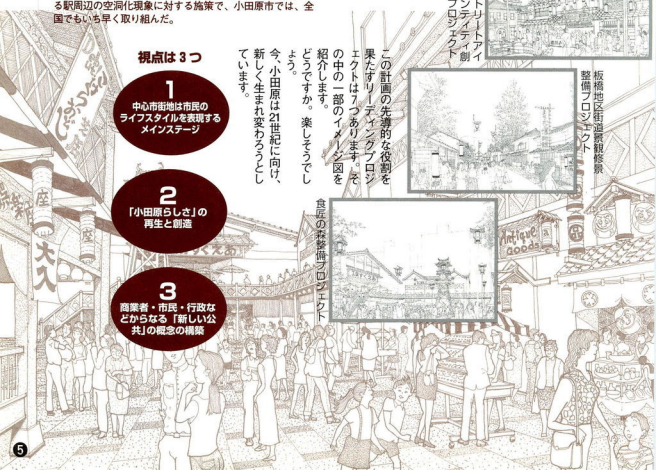
「小田原らしさ」の
再生と創造

3

事業者・市民・行政な
どからなる「新しい公
共」の概念の構築

この計画の先導的な役割を果たすリ・デザインプロジェクトは7つあります。その中の一部のイメージ図を紹介いたします。

どうですか。楽しそうですね。今、小田原は21世紀に向け、新しく生まれ変わろうとしています。



楽しく学ぼう！ おだわらシルバー大学

今受講生を募集しているおだわらシルバー大学では、卒業生も多様なサークルを作つて活発に活動し、いろいろな場面で活躍しています。主なものを紹介しよう。

一般教養学科の卒業生のサークル「ふきのとう」は、学習活動以外にコーラスの練習も重ねてシルバー大学文化祭などにも参加するなど、多彩な活動を行っています。「むつみ会」は、昨年度「いきいき健康講座」を企画し、勉強会を開きました。親睦を深める行事なども企画し、和気あいあいと活動しています。

「おだわらシルバー」の会と「マジッククラブ・レインボー」は、学友指導学科の総

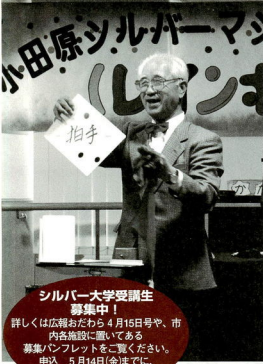
本コース・手品コースの卒業生のサークル。双方とも年間30回を超える公演実績があり、毎月第4日曜日の14時からマロニエのラッコールームで、合同の定期公演を開いています。

歴史観光学科の卒業生は「小田原ボランティアガイド協会」を組織しています。藤棚観光案内所を拠点として、毎年2万人を超える観光客に対してガイドを行っています。また、学習グループを自主的に結成し、日々研究を重ねています。

「おだわらのまちづくり」を考える会は、小田原学まちづくり学科の卒業生のサークル。介護保険の研究と多くの市民への周知を目的

に介護保険の勉強会を開いています。福祉問題に大きな情熱を持って取り組んでいます。

小田原学ふるさと探求学科卒業生によるふるさとを学び伝える和気あひは、4月に結成したばかり。ふるさと小田原に残される伝統文化を、子供たちなど多くの



シルバークラス大学受講生募集中心!
詳しくは広報おだわら 4月15日号や、市内各施設に置いてある募集パンフレットをご覧ください。
申込 5月14日(金)まで、
生涯学習課 ☎33-1720

今年も国際高齢者年! すべての世代のための社会をめざします

高齢福祉課 ☎33-1841

★5月から11月には、毎月いろいろなイベントを開きます。積極的にご参加ください。

第1弾 5月16日(日)13:30~15:00 マロニエ
国際高齢者年記念講演会
「笑いがなくなっちゃ、この世はお話しだ!!」

講話家の林家木久蔵師匠が講演します。
●13ページに掲載の「おいでよわんぱくらんど」で開きます。あわせてご覧ください。

- | | |
|-----|---------------------|
| 6月 | みんなで参加しよう料理教室 |
| 7月 | 高齢者と園児のふれあい交流 |
| 8月 | 習慣がいっしょ映画会 |
| 9月 | 歩こう1万歩チャレンジ大会 |
| 10月 | ニューススポーツ大会 |
| 11月 | ふれあいけんこうフェスティバル |
| 12月 | 生涯現役!シルバークラスフェスティバル |

本市では年間を通じて、「国際高齢者年」の趣旨に沿ったいろいろな事業を市全体で行い、高齢者と高齢社会に対する市民の理解を深め、世代間交流や社会参加などを進めていきます。

1992年の国連総会で、1999年を「国際高齢者年」にすることが決まりました。高齢者のための国連原則である「高齢者の自立・参加・ケア・自己実現・尊厳」を促進することを目的として決議されたもので、テーマは「すべての世代のための社会をめざして」です。

詳しい事業内容や参加申し込みなどについては、その都度広報おだわらなどでお知らせします。お楽しみに。

市長随想

親子 文/小澤良明



議員を極めた統一地方選が終了した。議員さん達それぞれ違ったターゲットに心を相手を選びたい。昭和四十六年春、史上最年少候補が小田原市議選に初挑戦した。弱冠二十七歳、独身の私である。記録は今もつて破られていない。亡父・三郎は昭和二十一年、三十四歳で小田原市議に初当選。以後、戦後の復興期の一翼を担い五期十年間在職した。どこか野放図な荒武者だった父は、家庭や事業をおおざりにしてまで、市政に献身熱中した。ある時、わき目もふらず長期間かけて大がかりな本市発展のグランドデザインをまとめた上げた。その献策が結局受け入れられないと判った時、挫折感と無力感を覚えた父は、その後急速に市政への情熱を失ったらしく、今の私より若い五十四歳で引退してしまふのである。翌日から父はそれこそ想像以上の土に親しむ生活に没頭していった。私はこんな変わり者が情熱一杯の父親の音中を見て育った。

「おだわら女性ビジョン」誕生

男女共同参画型社会をめざして 女性行政課 3331725

「女だから、男のくせに〜
こんなことありませんか？」

「子育ても家事も
母親(女性)だけの
役割ではない」とい
う考えの人は多い
でしょう。しかし
例のA子さんと
B男さんのような
状況は、男女を問わ
ずあり得ます。



「子育ても家事も母親(女性)だけの役割ではない」という考えの人は多いでしょう。しかし例のA子さんとB男さんのような状況は、男女を問わずあり得ます。

また、女性であるというだけの理由で受ける差別や偏見などの問題を、「女性問題」と言います。しかし逆に、男性だという理由での差別や偏見ももちろん存在します。女性問題は視点を変えれば男性問題になります。一人ひとりが個性と能力を発揮して生きていける社会をつくるために、解決しなければならぬ問題なのです。

小田原市では今回「おだわら女性ビジョン」を策定しました。平成3年策定の「おだわら21世紀プラン」を全面改定する過程で素案を公開し、1,24件のご意見・ご提案を市民からいただくなど、市民の意見を反映したものであります。

それぞれの性別にふさわしいとされる行動や態度や心のあり方は、社会や文化、時代によつてそれぞれ違います。このような文化的社会的に作られた性別の役割という概念は、ジェンダーといわれます。この言葉は「生物学的性別」に対して使われます。

「男の子なんだから泣くのはやめなさい」「女の



また、女性であるというだけの理由で受ける差別や偏見などの問題を、「女性問題」と言います。しかし逆に、男性だという理由での差別や偏見ももちろん存在します。女性問題は視点を変えれば男性問題になります。一人ひとりが個性と能力を発揮して生きていける社会をつくるために、解決しなければならぬ問題なのです。

小田原市では今回「おだわら女性ビジョン」を策定しました。平成3年策定の「おだわら21世紀プラン」を全面改定する過程で素案を公開し、1,24件のご意見・ご提案を市民からいただくなど、市民の意見を反映したものであります。

「おだわら女性ビジョン」の閲覧・配布をしています!

計画書は行政情報センター(市役所4階)、女性行政課のほか市施設の図書室で閲覧できます。希望者にはダイジェスト版を、上記施設のほか支所・連絡所、アリーナなどで無料で配布します。インターネットでも見られます。

●インターネットアドレス
<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/b/inetcity/josei>



お気軽にお立ち寄りください

女性行政課は、4月から市役所5階緑通路に移転しました。女性問題に関するパンフレットの配布、図書の間覧なども行っていきます。ご利用ください。



みんなが主役のまち

「おだわら女性ビジョン」の3つの基本理念

- 男女共同参画型社会の実現
性別にとらわれず、だれもがのびのびと自らの能力を発揮し、その責任を果たせる社会をつくります。
- 人権としての女性の権利の確立
男女は本来平等です。性別による偏見や差別をなくし、女性の人権を確立します。
- 女性のエンパワーメント
社会のあらゆる場面に女性が参画していくために、女性自らがその力をつけ(エンパワーメント)、その能力を発揮できる社会づくりをめざします。

キーワード

参画…参加するだけでなく、方針などについての意思決定を行い、そのことについて責任を持つこと
エンパワーメント…あらゆる分野で、自分で意思決定し行動できるように能力をつけること

その後代替わりの父の役割が大きくなっていきます。また、女性の権利「人権」の一つとしてとらえ、セクシュアル・ハラシメントや家庭内での暴力といった新しい問題も取り上げました。

多様な生き方が尊重され、女らしく男らしくというよりも人間らしく、だれもが生き生きと暮らせる活力いっばいの社会を目指して、平成22年(2010)を目標年次にもさまざまな施策を進めていきます。

女性行政課は、4月から市役所5階緑通路に移転しました。女性問題に関するパンフレットの配布、図書の間覧なども行っていきます。ご利用ください。

市政を、まっすぐに語れば尽きない熱い想いが沸々と湧いてくる。一筋に精進できる半生をただ囁み続けるのみである。

「おだわら女性ビジョン」の閲覧・配布をしています!

計画書は行政情報センター(市役所4階)、女性行政課のほか市施設の図書室で閲覧できます。希望者にはダイジェスト版を、上記施設のほか支所・連絡所、アリーナなどで無料で配布します。インターネットでも見られます。

●インターネットアドレス
<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/b/inetcity/josei>

また、女性であるというだけの理由で受ける差別や偏見などの問題を、「女性問題」と言います。しかし逆に、男性だという理由での差別や偏見ももちろん存在します。女性問題は視点を変えれば男性問題になります。一人ひとりが個性と能力を発揮して生きていける社会をつくるために、解決しなければならぬ問題なのです。

小田原市では今回「おだわら女性ビジョン」を策定しました。平成3年策定の「おだわら21世紀プラン」を全面改定する過程で素案を公開し、1,24件のご意見・ご提案を市民からいただくなど、市民の意見を反映したものであります。

その後代替わりの父の役割が大きくなっていきます。また、女性の権利「人権」の一つとしてとらえ、セクシュアル・ハラシメントや家庭内での暴力といった新しい問題も取り上げました。

多様な生き方が尊重され、女らしく男らしくというよりも人間らしく、だれもが生き生きと暮らせる活力いっばいの社会を目指して、平成22年(2010)を目標年次にもさまざまな施策を進めていきます。

女性行政課は、4月から市役所5階緑通路に移転しました。女性問題に関するパンフレットの配布、図書の間覧なども行っていきます。ご利用ください。

市政を、まっすぐに語れば尽きない熱い想いが沸々と湧いてくる。一筋に精進できる半生をただ囁み続けるのみである。

小田原の生き物たち①

豊かな自然に恵まれた小田原。住み慣れてしまうと見過ごしがちなこの大きな財産を、このコーナーで見つめ直します。知らなかった生き物や植物との出会いにご期待ください。

日本自然保護協会自然観察指導員 常盤 博(城山)

小田原の自然の特色

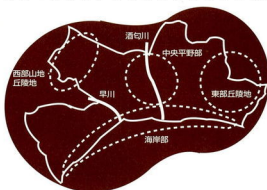
小田原は豊かな自然に恵まれています。緑の山、青い海、清らかな水、多様な生き物が息を休めています。

小田原城にのぼって周りの自然環境を眺めてみると、南は相模湾、遠く伊豆大島が望めます。また、石橋山の山すそ早川より先は、岩礁の磯浜海岸になっていて、海の生き物の多彩な世界があります。東は市街地で、酒匂川の沖積作用によりできた足柄平野が開け、大磯丘陵へとつながります。そこには市街地特有の自然と、清らかな水やホテルをはじめ水辺で生育する生き物を観察できる豊かな自然があります。

北は松田山、丹沢山地につながります。一方西に目を転じれば、箱根外輪山の明神岳(924m)、その南には白根山(993m)聖岳(838m)の、緑に包まれた広大な自然景観が目に入ります。

この山地と丘陵は、スギ、ヒノキの二次林(人工林)や、人里近いところはミカン畑・耕地として活用されています。しかし、所々に雑木林や常緑広葉樹林が残って、多様な昆虫・蝶類・野草の生育地になっています。生物の生き方は地形や土の性質に大きく支配されるのです。

小田原の自然や生き物を観察するため地形や成り立ちをもとに以下の4区に分けてみます。



① 西部山地・丘陵地 外輪山東斜面と丘陵

② 中央平野部 酒匂川を中心とした流域

③ 東部丘陵地 古く海底の隆起した大磯丘陵

④ 海岸部 江之浦から前羽までの海岸線

小田原の気候

気候も自然の一つです。生物の生育には気象条件が大きくかわります。

小田原は海に向かっての字型の地形で、温暖な生活しやすい気候です。平野部の年平均気温は約16度、年雨量は2千mmを超え、全国でも多い方です。春は海側から陸側へ、秋から冬にかけては陸側から海側に北または北西の風が吹き、乾燥します。温暖で雨量の多い気候は植物分類地理学上、暖温帯林に属し、常

緑広葉樹の自然林が形成される地域となっています。小田原でも針葉林などにその痕跡が見られます。

小田原の生物相のあらしじ

日本の中央部に位置する小田原は、穏やかな気候に恵まれ、「人を含め生き物にとって息をしやすい地域」です。また、南方種と北方種が入り交じって息を休めて、箱根を越えて南に向かう種類と反対に北に向かう種





類が交差する地域ともいわれています。それは、箱根山系や小田原の自然環境に大変更のある地域であるといえます。

最近、小田原も都市化が進んで自然が失われつつありますが、身近な「自然」や「生き物」の生活を訪れて自然を発見してみまじょう。

今回は小田原を4区に分け、自然と生物相のあらずじを紹介します。

①西部山地・丘陵地

外輪山東斜面のスギ・ヒノキの二次林に覆われています。緑は多いですが二次林のため、生態系は比較的単純化しています。しかし、一部雑木林や草原が残っていて、自然観察に適した場所



メダカ：3～4cm。日本のほか、アジア大や東部、台湾に生息。平野部の浅い沼、池に水田、溝などに住む。雑食性で、夜間は底に移動。4月頃から産卵期に産卵する。

②中央平野部

酒匂川を中心とする流域一帯で、かつては山北・関本域まで海でした(定積湾)。その後、海の撤退で陸地化し、市街地や畑地、水田として利用されています。市街地は、住宅化で自然はなくなっていますが、公園や空き地では植化植物や人の住む場所を生活の場とする都市鳥・昆虫・クモなどを見られます。

酒匂川を残って富士見橋以北は、水田も残っていて豊かな自然が残されています。また、豊富な地下水があり、県内でも水資源に最も恵まれた地域です。したがって、農業用水路にはホタルやメダカ、水辺の昆虫など、多様な生物が生息しています。今年3月20日、NHKクロスアップ現代「メダカ絶滅の危機」で、地メダカ生息の放映があったのもこの地域です。また、富士見橋下の中州に、市の鳥「コアジサシ」のコロニー(集団営巣地)が見られます。

③東部丘陵地

国府津から曽我山に続く2,000m内外の低い丘陵で、南斜面はミカン畑や梅林として

ゲンジボタル：12～18mm 北海道・本州・四国・九州に分布。小田原では成虫は5月下旬～6月中旬に見られる。幼虫はカワニナ・ヒメタニシなどをエサにし、土の中でサナバになる。雨いところで尾部が発光する。



(例) いこいの森も見られます。かつてこの地域の雑木林は里山と呼ばれ、クヌギ・コナラ、シデの落葉広葉樹が生育し、薪材・炭材、シイタケ原木に使われとして活用されたこともあり。また海岸に近い丘陵地は、小田原の気候の特性からすると常緑広葉樹の森(クス・シイ・カシ・タブなど)であったと想像されます。その痕跡は現在、小田原城跡・県立小田原高校附設(真文文化財・長興山鉄牛和尚寿塔周辺の森(神奈川の実林・市内の社寺林)に残っています。また、この時期前記の林縁をたどればシヤガ・ホウチャクソウ・ヤマツツジ・エゴノキのかれんな花に接することができます。

ことがきます。



山王海岸のコウボウムギ群落：海岸の砂地にはえる多年草。冬から夏にかけて茎が直立つ。雄花序は長卵形で黄色のやくが目立つ。ふでくさともいう。

活用されています。また、過去の里山クスギ・コナラの広葉落葉樹、ヤブツバキクラスの高緑広葉樹(アラカシなど)の自然度の高い樹林が残されています。「田島弁天山シネル周辺」の斜面樹林はアラカシ・ヌシデ林にまっています。

また、曽我谷津「弓張りの滝周辺」も自然度の高い地域です。スギ・ヒノキに混じってアラカシ・エノキ・ケヤキなどの広葉樹が多く生育しています。また、樹冠が上層を覆って林床の湿度が高いため、ハコシタダ・ジエウモンジシダ・ヤブソテツなどシダ類が豊富に生育する自然が見られます。

④海浜部

近い海岸部から前羽海岸までの20km近い海岸線は、早川を境に南側が岩礁海岸、東側が砂浜海岸になっています。砂浜海岸の自然度が高いのは山王海岸で、ハマボムガオ・ツルナ・コウボウムギ・ケカモ・ハシなどが見られます。砂浜



コアジサシ：約25cm。カモメ科。口ばしは黄色。足はオレンジ色なのが特徴。北海道以外の地方に生息する夏鳥。冬はオーストラリアやマライ半島へ渡る。河川の中州で繁殖し、魚をエサとする。小田原市の鳥。

ダイオキシン

あなたは本当に知っているの？

新聞・テレビなどで毎日必ず目にするダイオキシン。

今、国民の第一の関心事と言えるでしょう。

ところで、あなたはダイオキシンのことをどこまで知っていますか？

ダイオキシンって何？

今や世界で問題となっているダイオキシンは、主に「物の燃焼」、その多くが廃棄物の燃焼で発生していると考えられています。

また、金属の精錬過程や紙の塩素漂白工程、農薬製造でも発生し、たばこの煙・山火事などでもダイオキシンは生成されます。

この物質は水にはほとんど溶けません。脂肪などに溶けやすく、人体には食物・大気・水・土壌を通して取り込まれ、脂肪組織に蓄積されます。多くは食物から取り込まれると考えられていますが、それ以外に排出される期間は数年から十数年といわれています。

また、文献によればダイオキシンの毒性には、急性毒性や発ガン性・免疫毒性・内分泌障害などが指摘されています。

小田原市のダイオキシン対策 ごみ焼却炉を改修開始

現在の廃棄物処理法では、ごみ焼却炉の暫定ダイオキシン排出濃度を80ナノ(1ナノは10億分の1)グラムとしています。

自治体焼却炉の全国平均が約300ナノグラムといわれる中、小田原市清掃工場の4炉の平均排出量は3.075ナノグラム(平成10年度)と非常に低い数値でありました。

しかし、国の指導で小田原市の場合は、2002年11月末までに1ナノグラム以下の排出基準となり、

併せて老朽化対策も必要になりました。そこで、小田原市ではダイオキシン対策のため、今年度から総額約43億円をかけ、清掃工場の改修に着手することになりました。

この工事は、4炉ある焼却炉を1年間で1炉ずつ改修し4年間で終了する計画で、改修後は国の基準をクリアした排出量(1ナノグラム以下)になる予定です。

一人ひとりの協力が未来を守る

ところで、いくら焼却炉を改修し、ダイオキシンの発生を抑制したとしても、ダイオキシン発生のもととなるごみの量が増え続けていたら意味がありません。

ごみの重量の3割程度が容器包装で占められていること(全国平均)をご存じでしょうか。私たちが毎日買っているペットボトルやびん・缶・牛乳パック、またスーパーなどで用いられる食品トレーなどが容器包装として使われ、すぐごみになります。これらのほとんどは再利用できるものなので、国をあげて回収・再利用に取り組んでいます。

私たちにできることは、捨てる時のことを考えて環境への影響の少ないものを選んだり、買い物袋を持参するなど、まずごく身近なことから始めることなのです。

ダイオキシン問題を現実として受けとめ、今何ができるのか、何をしなければならぬのか、一緒に考え、一人ひとりが行動することが必要ではないでしょうか。

シリーズ
●報道解説

がんこに手作り菜根淡

便利な代の世の中、物がいっぱい溢れているからこそ「おいしいこと」「カラダにいいこと」には、とことんこだわりたい。がんこ一徹「手作り」のお弁当・お惣菜をぜひどうぞ。おいしいですよ。

菜根淡2階に隣れ家あり
1日2組のおもてなし。コース料理2,500円、3,200円、5,000円(要予約)。ランチもOKです。

前作料理もお弁当いし **菜根淡** 大黒屋長工門

天橋きの **大黒屋長工門**

定休日 1-16-38 ☎24-3027 1-25-21 ☎35-0718





昭和15年(1940年)に市制施行した小田原市は、次の年(1941年)に市章のシンボルである市章を決定しました。
 あるときは市庁舎に懸る市旗として、あるときは市の印刷物に、来る遠征市制60周年を迎える小田原市を、しっかりと見守ってきた市章。
 この写真が、市章をデザインした当時の小田原商業学校(現在の城東高校)給送部のメンバーが採用決定を喜んでいる様子です。この市章の生みの親のひとつ、柏木さんに当時の巻取り返っていた写真を。

(昭和16年)市章決定を喜ぶ小田原商業学校給送部員(一番右が柏木さん)

今でも市章を見ると胸が熱い

柏木正二さん(74歳・栄町在住・家具店経営)

「小田原商業学校は、5年制の旧制中学校で、絵画部には1年生から5年生まで約25人の部員がいました。レベルは相当に高く、東京で毎年行われた全日本中等学校生徒作品展、日笠宣広美術展での入選実績もありました」と柏木さんのひとみが輝く。

第二次世界大戦中であるそのころの絵画部の活動は、商業美術の勉強よりも「生産力増強」「産業戦士」「生活刷新」など愛国心・勤労心をあおるポスター製作がもっぱ

らの活動であったとのこと。「当時は軍人肌の厳しい先生が多く、授業中に鉄砲を担いで北や座間まで歩かされ、演習をやらされました。でも、顧問の斉藤敏夫先生は紳士的で非常に優しくかったですよ」と胸に抱いた写真を懐かしそうに見つめる。そのような中、顧問の勧めで部活動の時間に美術部員の合作として市の紋章をデザイン出品することになり、知恵を絞って一人2〜3点のアイデアを出したとのこと。「小田原の美しい海の波と市内に多く見られる梅を使った作品のデザインのヒントも、顧問からのものでした」。

受賞に喜ぶこの写真は市長賞で表彰後に、小田原商業学校校友会(現スポーツ会館)の美術室(2階)から顧問が撮ったもの。

その顧問に連れられ、よく東京の上野美術館で何時間も芸術作品を解説してもらって

勉強したそうだが。「今となっては、いなかから都会へ出る喜びと帰りに新橋で食べたカレーの味に感激したことの方が記憶にありますけれど」と笑顔。

「私にとって青春を飾ったできごとですが、今でもまちで市章を見るたびに、当時の思い出に浸っています」と語る柏木さんの姿がとても印象的だった。

●「フォトメモリー」は、一枚の古い思い出の写真から、小田原の(時)と(き)を振り返るコーナーです。もし、貴重な写真や当時の解説・コメント・メッセージなどがありましたらご連絡ください。今後この誌面で紹介できる場合があります。

◎広報広聴室 ☎33-1261

「一枚の古い写真」好評販売中

小田原の幕末・明治維新から太平洋戦争終結時までの政治・経済・文化・社会などの写真700点を収めています。

1冊3,500円

市立図書館、かもめ図書館、小田原文学館で販売
 ◎市立図書館 ☎24-1055



木章の講堂前で記念写真を撮った当時の写真の5枚柏木さん

広告

「広報おだわら」への広告掲載のご案内

◆ 広報おだわら発行日

毎月1日号/71,000部(自治会配布)
 毎月15日号/72,500部(新聞折り込み)

上記配布の他、市役所、支所、連絡所、マロニエ、駅前ふらっとスポット
 図書館、尊徳記念館、小田原駅(JR東日本、JR東海、小田急)
 市内各郵便局に配布

◆ 広告料金

1コマ(93mm×50mm)	2コマ(190mm×50mm)
＜カラー＞	＜カラー＞
50,000円	90,000円
＜モノクロ＞	＜モノクロ＞
40,000円	70,000円

※消費税・製作費
 写真分解料などは
 別途にかかります。

詳しい問合せ・申し込みは
 広報おだわら広告代理店 (株)タウンニュース社
 小田原支社 ☎0465(35)3980

人から社会が見えてくる？

『まちへとびだそう』

小田原再発見

広報広聴室 ☎33-1261

NHK教育テレビで現在放映中の、小学校3年社会科の番組「まちへとびだそう」。もうご覧になりましたか？

主人公は、日本列島のはるか南にある島から、おじさんを訪ねて小田原にやってきたガジュ丸。いつでも元気いっぱい、木の精霊キッキが中に住んでいるペンダントをしています。さまざまな人と出会い、前向きに何にでも挑戦し、いろいろな仕事を体験していきます。町の人気者で何でも知っているおじさんや、いろいろなアドバイスを

してくれる地元ミニコミ紙の記者ユカさんのほか、市民もたくさん登場します。家の近所で撮影が行われたり、知っている人が出演したりするかもしれません。

3年生の社会科は、子供たちが町に興味



ガジュ丸

ユカさん

おじさん

木の精霊キッキ

を持って、町の仕組みや人々の暮らしを知り、地域への愛情を持ってもらうための教材。海あり、山あり、川ありの豊かな自然、伝統ある歴史と文化、商工業、農業や漁業、そして温かくてやさしい人々と、ここ小田原には何もそろうていると認められた結果、子供たちの勉強の手伝いをする物語の舞台として選ばれたのです。

全国の小学生がこの番組を見て、自分の町に興味を持つことでしょ。そんな夢のあるお手伝いはなかなかできません。

小田原ファンもこんなところから増えるでしょう。

NHK教育テレビ 3ch
火曜日 11:30~11:45
(再)木曜日 9:30~9:45

人権教育用パンフレットができました

学校教育課 ☎33-1685

人権教育用のパンフレットを作成し、各小・中学校の全児童・生徒に配布しました。2年前に人権パンフレット作成委員会を発足し、この3月に完成したものです。

パンフレットは、小学校低学年用「こころぼかぼか」高学年用「こころひびきあい」中学校用「こころ知ら



んぶりしていませんか」の3種類です。パンフレットの詩や作文や絵に触れて、心で受け止めてほしい。そして先生・友達・家族と話し合い考え合うことで、自分を大切にすることや思いやり、差別を許さない心を育ててほしいという思いが込められています。

谷川俊太郎「いち」、松谷みよ子の「わたしのいもうと」のほか、市内の児童・生徒の作文が2点、絵が18点掲載されています。

学校では、学級活動・道徳の授業や朝と帰りの学活、集会の場で使っていく予定です。家庭でもぜひ、親子で読み合ってください。学校での学び合いも活発に、家庭での語らいも豊かにしていきます。

5月は赤十字運動月間

福祉総務課 ☎33-1861

赤十字は、人種・宗教・政治を越えた中立の立場で事業を行うことを使命として、災害救援活動・国際救援活動・献血事業推進など、国内・海外で幅広い活動を行っています。事業資金は、赤十字事業に協賛する社員(毎年500円以上の資金協力者)の社費と、その他の寄付金によって支えられています。皆さんの温かいご支援をお願いします。

全国各地で小田原をPR! 「小田原評定衆」が魅力を発信

市民交流課 ☎33-1703

小田原は、自然・環境・歴史・文化と恵まれた資産に
あられるまち。長い歴史の中で、多くの人々との出会い
やふれあいが、まのちをよりをたくわえています。
そんな小田原のことが大好きという方が、全国に
はたくさんいらっしゃいます。この小田原ファンの方
の力を借りて、小田原の魅力を積極的にPRしてい
こうという、小田原評定衆という事業がスタートしま
した。

また、この魅力発信をお願いするほか、外から見たまち
の印象や意見などもいただきます。
すでに就任していたのは177人。この中に
は、作家の高冬さんや音楽評論家の湯川れい子さ
んもいらっしゃいます。小田原評定衆の皆さんは、こ
れから小田原の応援団として、さまざまな場面で協
力を願っている予定です。

「小田原評定衆」って？
「小田原評定」という言葉は、豊臣秀吉の小田原攻め
の時、籠城か
出撃か軍議が
紛糾してなか
なか決まらな
かったことが
「一般的に
」議論がまよ
う意味で使わ
れることが多
いからです。

しかし歴史の専門家などには異なる見方もあり
ます。そもそも小田原評定衆」というのは、戦国時代
に小田原北条氏が政務を合意裁決するために設けた組
織のこと。この点に注目してみても、合意を重んじた民主的
な判断大全・北条氏の姿が浮かびあがってきます。
そこで、今回あえて「小田原評定衆」という名前をつ
けました。この事業を通じて、「小田原評定衆」の歴史的
な意味合いやプラスのイメージを、全国に発信してい
きます。





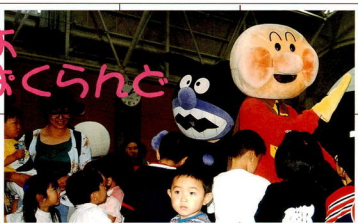
おいでよ わんぱくらんど

はつらつエンゼル・愛の環フェスティバル

児童福祉課 ☎33-1454

日時 5月6日(日)
10:00~18:00
場所 マロニエ

21世紀を担う子供たちが心豊かに育つように、市民あげての育て支援を呼びかけながら、子育ての楽しさを知ってもらおうと開いた盛りだくさんのこのイベントは、昨年も大好評でした。今年も充実した楽しい内容です。



親子で一緒に遊ぼう!

- ①スタンプラリー
- ②パネルシアター・エプロンシアター・手品・うたと遊び
- ③作って遊ぼう
折り紙や竹とんぼ

その他ののしこといっぱい

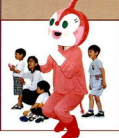
- ①親子仮装・コンテスト
アンパンマンやバイキンマンも大活躍!
- ②模擬店いろいろ



わんぱくイメージキャラクター “バオタン”

子育ての知識を得よう!

- ①子育ての悩み・疑問にお答えします
- ②子供の食事・おやつヒント
- ③幼稚園・保育園ってどんなところ?



国際高齢者年記念講演会

高齢福祉課 ☎33-1841

6ページで紹介したように、今回は国際高齢者年。今回の記念講演会も、「すべての世代のための社会をめざして」というテーマに沿って、市がいろいろなイベントを行っているものの一つです。



テーマ●笑いと健康

「笑いがなくちゃ、この世はおしまいだ!」



時間 13:30~15:00
場所 マロニエホール
定員 500人・先着順
講師 落語家 林家木久蔵師匠

5/16日
マロニエで
楽しい初夏の休日
を過ごそう



五月五日は本白まろ。
端午の節句は本白まろ。
和菓子の匠

端午の節句は子どもたちが今や身につくことを願ってのこと。柏の葉は時代にひきつづかしく、斬りもが、色あいても新緑の自にこしあん、ピンタにみであん、まよぎにつぶあんとなつたのは、先人たちがのめり最近のあきあき知恵なのかもしれない。当流もよくばって昨年ひきつづきその三種の味をいれ、柏の葉を煎がわりに包んでみました。柏もちの美味しさは、この時期だけの「旨」の味わいです。おみのがななく。



五人煎 柏の葉 栗の葉 栗の葉 栗の葉 5月1日(土)~5月30日(日)
●3つ切 栗の葉 TEL:0465-23-1567 営業時間 午前10時~午後6時



姉妹都市 「チュラビスタ市」って どんなところ?



4月2日と3日の4日間、アメリカ合衆国のチュラビスタ市から、ポニタビスタ高校シークワ
イアマミュージカルチーム「サマニークンクン」が小田原市やってきました。3日土日に中
央公民館で行われたコンサートは、全米で17回にわたってトップシテンにランクされるという実力者
大、高度な技術の華やかな舞台でした。17か国で公演している種々な文化がうなずけます。

小田原の姉妹都市チュラビスタ市は、アメリ
カ合衆国カリフォルニア州にある風光明媚
な町。ロサンゼルスから南へ200km、サン
ディエゴから13km、南11km行けばメキシコ
国境といった位置にあります。そのため、料

理から建築までメキシコ文化の影響が見ら
れ、ヒスパニック系の市民も多く、スペイン
語をよく耳にします。

チュラビスタとは、スペイン語で「美しい
眺め」という意味。その名前のとおり、抜け
るような青空と明るい海、ふりそぐ陽の光
がまぶしい町で、真冬でもTシャツ一枚でし
のげる日もあるほど温暖な、南カリフォルニ
アのイメージそのものの町なのです。

相模川の栽培も盛んで、レモンの生産量が世

界一だうたこともあります。
また、町の魅力を保ちながら郊外の住宅地
の開発などを計画的に進めている、人口16万
人の都市として発展しています。

提携のきっかけは：
姉妹都市提携のきっかけは、小田原市の当時の助
役と教育長がアメリカを
視察しているとき、ロサンゼ
ルス在住の神奈川県人会か
らチュラビスタ市を紹介され
たことでした。

れ、1981年(昭和56年)11月に姉妹都
市の提携を結びました。

交流を深めて、もうすぐ20年
小田原市では、毎年夏にチュラビスタ市へ
青年を派遣して、現地でのボランティア活動
やホームステイを通して、交流を深めています。
また、姉妹都市提携を発足した小田
原海外市民交流会は、青年の派遣を受け入れ
るのはが市民訪問団も派遣して異文化交流を進

**青年海外姉妹都市派遣の参加者
募集中!**

対象：市内在住・在勤・在学の18歳から28歳
までの方。詳しくは募集要項をご覧ください。
申込 5月31日(月)までに、
市民交流課 ☎33-1707

(ON AIR)「ザ・ミュージックマシーン」コンサート放映決定!
5月10日～23日 ケーブルテレビ9チャンネル

めるなど、市民レベルでの活発な交流を進め
ています。

今までにチュラビスタ市からは、計3回市
民訪問団が来日しています。昭和59年、平成
3年、そして平成7年には、シャイラー・ホー
トン市長が回覧しました。今年は、4月17日、サ
ミュエル・マシソン氏のほか、5月23日、26
日に市民訪問団が小田原市やってきました。
この市民訪問団の滞在中は、市内見学や日本
文化紹介などを通して、市民との交流を図っ
ていきます。

平成12年度には、小田原市が市民訪問団を
結成してチュラビスタ市を訪問する予定です
。また、平成13年度は姉妹都市提携20周年
にあたります。

仲間募集 やさしい三味線・大正琴 (広告)

～民謡、童謡、歌謡曲など、一緒に楽しく弾いてみませんか～

- 初心者、年配者歓迎
- 楽器持参の必要なし
- 楽しいお茶とおしゃべり

※見守り自由。お気軽にごうそー。

小田原駅より徒歩7分
メロディー会 おほりばたビル1F
☎22-3356

あなたの本をつくります

- 自費出版について全くわからない方
印刷費の心配もありません
- 本をつくりたいけれど文章を書くのが苦手な方
プロライターと共同出版が可能です
- 自分で作ったウェブページを利用したい方
ホームページ制作も同時進行です
- 費用はどのくらいかかるのか
印刷費は1冊あたり1万円程度から、送料、郵送料は別
- 原稿のまとめで大変だ～という方
1冊12ページ以内、文章構成までサポートします

個人のお名前 住所 電話番号 発行部数 発行日 編集 印刷 送料 郵送料
企業・団体様は 会社内外 法人 発行 印刷部 印刷 送料 郵送料

(株) **コンパニオン社** 出版部
神奈川県厚木市菅原668
TEL 0463-82-0611
FAX 0463-85-1261

青く澄んだ清水がとうとうと流れる小田原の酒匂川と早川は全国でも屈指のアユ産地。自然の中で身を沈め、力強く竿を引き込むアユのかけひきで、みごと手のひらに美しい銀鱗を踊らせれば、それはもう至福の瞬間。太公望の熱いバトルは今年も繰り広げられます。

アユに魅せられて

アユほど釣り人に愛されている魚はないでしょう。美しい姿と甘い匂い。ひとたびしかけにかかると、その美しさからは想像もできないほどに、グイグイと竿先を引き込み込む強さ。

一日の釣果を反省しながら、塩焼きをさかんに杯を傾ければ、このうえもない美味が破れ切った体を癒やしてくれます。

わずか一年でその生涯を終える美しくも悲しいこの魚を、日本では古来から育て、親しんできました。小田原の母なる二つの川と聖なるアユは、私たちの心の故郷なのです。



酒匂川、早川アユ解禁

6月1日

胸ときめく初夏の到来



さあ！竿を持つ

酒匂川に150万匹、早川に35万匹が放流予定。ともにアユ釣りの解禁は6月1日から10月14日。

●酒匂川釣り場

友釣り・どぶ釣り可能。天然アユの遡上あり。年間30万人の釣り人が訪れる。

年間遊漁証	10,000円
年間中学生遊漁証	2,500円
日釣券(売店)	1,000円
日釣券(現場)	1,400円

◎酒匂川漁業協同組合 ☎37-4277

●早川釣り場

友釣り・どぶ釣り・餌釣り可能。ただし餌釣りは期間限定(箱根地区8月1日から、小田原地区9月1日から)天然アユの遡上は良好。今年は例年より早く3月3日に遡上している。

年間遊漁証	8,500円
年間中学生遊漁証	2,125円
日釣券(売店)	900円
日釣券(現場)	1,300円

◎早川河川漁業協同組合 ☎22-2440

釣り好きは川を大切にしている人



これであなたも アユ博士

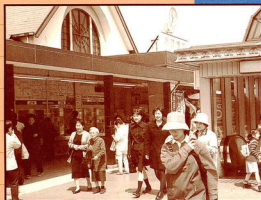
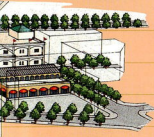
アユは「SWEET FISH」「香魚」とも言われます。

●アユのあれこれ

1科1族1種。日本全国に分布。秋に砂利の浅瀬に産卵し、ふ化した稚魚は川の流れて乗って海へと下ります。翌年の3～5月に、海で10cmくらいに育った稚魚が川を上り始めます。川底の石や付いた藻を大きな口でそぎ落として食べ、体長25cmの成魚となります。繁殖期になると、姿態に紅色の婚姻色が表れ、特に雄には美しく強く出ます。

●アユの釣り方

※どぶ釣り…「どぶ」は淵のこと。流れのゆるい深い淵で、重いおもりを用いて毛針を沈めて釣る方法。
※友釣り…縄張り意識が強いアユの本能を利用します。体に針をつけた元気の良いアユを泳がすと、闘争本能に火がついたアユは、その中に入ってきたよ者を追い出そうと体当たりで攻撃してきます。それを引っかけて釣る方法です。



21世紀の交流舞台・ 小田原城下町

小田原駅周辺を、富士・箱根・伊豆にまたがる新しい交流圏の中の、神奈川県西地域の発展につながる開かれた広域交流拠点として整備します。

まずは、市民の長年の夢である「小田原駅東西自由連絡通路」に着手し、広域交流拠点整備の一大プロジェクトをいよいよ本格的にスタート。

21世紀を担う広域交流拠点には、4つの役割と7つの機能の育成・強化が求められます。

県の西の玄関口・交流圏のゲート

広域交通ターミナル機能の駅東西の分担保と相互の連携を図り、県の西の玄関口として新しい、かつ交流圏形成のためのゲートにふさわしい交通処理機能を整備。

広域観光振興の拠点

ネットワーク型の広域観光圏の形成を目指し、広域的な観光情報機能や観光バスターミナルを整備し、人や情報の交流を促進する機能を強化。

県西地域の生活拠点

都心にふさわしい商業空間や、アミューズメント機能、さらに来訪者や県西地域の人が手軽に利用できる多目的な交流施設など多様な魅力ある都市機能を充実し、県西地域の生活の利便性・快適性を向上。

広域防災拠点

防災拠点である駅西側の市役所周辺地域と駅東側の繁華街との連携を図り、来訪者も視野に入れた駅と周辺の都市防災機能を向上。

4つの役割

7つの機能

交通 / 小田原駅のターミナル機能強化

情報 / 情報受信機能強化

観光 / 観光拠点機能の強化

商業 / 都市商業機能の強化

宿泊 / 休泊・回遊拠点機能の強化

コンベンション / 新たな交流機能整備

防災 / 広域防災機能の強化